



きらり！ No.19 まちの主役



那須おんせん朝市
実行委員長 人見 浩さん

那須温泉街の夏の風物詩となった「那須おんせん朝市」は、今年で4年目を迎えます。8月の毎週日曜日午前7時から那須温泉街で、新鮮な地元農産物や加工品、地元企業の飲食物を販売し、浴衣姿の宿泊客などでにぎわいます。

自らも生産者である上半俵の人見浩さん(55)は「農業と観光の連携で那須温泉街を活性化し、地元農産物を知ってもらいたい」との思いで朝市を始めました。人見さんは「地元はどういった農産物があるのか情報が寸断されている。観光客だけでなく地元観光業者にも知ってほしい。リピーターも多く、関心の高いことがわかるので、実際に朝市を見てほしい」と話します。

出店者を募集中ですが、人見さんから出店者へのアドバイスは次のとおり。「朝市の出店は、売上が目的ではありません。市場ニーズをつかみ、お客様の求めるものを生産するというフィードバック、ブラッシュアップにつなげる機会です。那須温泉街は、価値を知っているお客様が集まる場所。安売りする必要はないが、味と品質を高めなければなりません」
この夏、那須温泉街で本物のおいしさを味わいませんか。

◇短歌

かつこうや時鳥鳴く山の畑
仲間と今日もほうれん草摘む
黒羽の城跡彩る紫陽花は
遠き歴史も匂はせて咲く

稲沢 芳子
中島 君江

◇遊行柳投句箱

青田から青田へ遊行柳まで
千葉市
残されし青田と柳宿場町
江東区

浜岡 紀子
堀江 恵子

◇俳句

朝日浴び百本並ぶ立葵
老夫婦言葉すくなく田草引く
紫陽花に囁く夫婦愛添える
天皇の通いし道の四葩かな
籠ほたる揺って確む親子かな
ホームには螢舞ふだけ無人駅
舗装道捨て身でわたる大毛虫

井出かへい
山口 生石
深山 輝
須釜 嚙子
松浦 秀文
中島 慶子
鮎瀬 汀
齋藤 照代
白田 静江
七海 英司
仲川 光風
平岡 丈子
大島 昇
岡部 慶子
榎 かず子
津田イツ子
南雲 浩一

那須文芸

初生りのトマト分け合ふ朝の卓
咲き初めて藍淡あはと七変化
牧草を積み返して梅雨晴間
生かされて居るてふ老の更衣
清流の貫く城下堂舞ふ
ガラス戸に吸盤見せし雨蛙
一書抜く書架に湿りや走り梅雨
ほらそこと言へばかき消ゆ螢かな
続く道開拓史あり月見草
雲低く雷鳴わたる城下町

ラジオ番組 【ら・ら・なすTime】

☆毎週木曜日 正午～午後12時30分
☆レディオベリー 76.4MHz
☆那須町提供【ら・ら・なすTime】

那須町のフレッシュな観光・イベント情報や魅力をお伝えしています！お楽しみに！

那須文芸への出句について

出句は楷書でお願いします。判別できない場合は掲載になりませんのでご注意ください。
また、電話番号の記入をお願いします。

■締切り 7月14日(木)

■俳句の送付先

〒329-3222 那須町大字寺子丙3-166
田中 義郎 ☎72-5044

■短歌の送付先

〒329-3292 那須町大字寺子丙3-13
町総務課広報広聴係 ☎72-6901